

参加者の有無を確認する公募手続に係る参加意思確認書の 提出を求める公示

令和3年1月12日

関東地方整備局 利根川上流河川事務所
事務所長 安達 孝実

次のとおり、参加意思確認書の提出を招請します。

本案件は、「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」（平成28年3月22日すべての女性が輝く社会づくり本部決定）に基づき、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令（女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、青少年雇用促進法）に基づく認定を受けた企業及びそれに準ずる企業を評価（認定企業等を加点）する対象案件です。

本案件は、契約手続き等について、一部を除き、上記利根川上流河川事務所長とは別の事務所（関東地方整備局江戸川河川事務所）において行う案件です。

1. 当該招請の主旨

本件は、利根川上流河川事務所の既設の揚排水ポンプ設備及び遠方監視操作制御設備（以下「当該設備」という。）の修繕工事に関する公示である。

対象となる修繕工事は、設備の機能・性能に影響を及ぼす「分解整備や設備更新等の修繕工事」とする。修繕工事とは、設備の「機能・性能」を「維持・回復（復旧）」させるために行う工事であり、故障原因の追及・対処だけでなく、当該設備内の他の部分や同一設備で不具合が発生する可能性の有無の検討や対策の立案等を含むものであり、単に部品交換を行うだけのものではない。

当該設備はその機能を発揮するために必要な「機能・性能」を定めた仕様書等に基づき設計・開発・製作・据付したもので、修繕工事を行う際には高度で高い信頼性が求められるとともに、関連する各設備との調整を図りつつ工事を行わなければならない、当該設備に関する高い技術力が必要不可欠である。

よって、当該設備を修繕する必要が生じた際は、当該設備の工事に必要な技術を有している法人等（以下「特定の法人等」という。）を契約の相手方とする契約手続きを行う予定としているが、特定の法人等以外の者で下記の応募要件を満たし、当該設備の修繕工事を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を招請する公募を実施するものである。

応募の結果、3.の応募要件を満たすと認められる者がいない場合にあつては、特定の法人等を修繕工事受注予定者とする。

なお、3.の応募要件を満たすと認められる者がいる場合にあつては、特定の法人等と当該応募者に対して企画競争による企画提案書の提出を要請し、企画競争方式で修繕工事受注予定者を決定する。

また、当事務所は当該設備に修繕の必要性が生じたときのみ、本公示の手続きによって特定された修繕工事受注予定者と修繕工事に関する工事契約を結ぶこととし、修繕の必要性が

生じなかった場合は契約手続きを行わないこととする。ただし、本公示による手続き後に当事務所が修繕工事を依頼できる期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日までとする。

2. 施工概要

- (1) 件名 R3利根川上流河川事務所揚排水ポンプ設備修繕
- (2) 対象設備 別表「対象設備一覧表」参照
- (3) 施工内容 利根川上流河川事務所の既設の揚排水ポンプ設備及び遠方監視操作制御設備について、別途修繕工事の契約手続きを行った際、当該設備の修繕工事を行うこと。

修繕工事の施工に際しては、故障原因の追及・対処だけでなく、当該設備内の他の部分や同一設備で不具合が発生する可能性の有無の検討や対策の立案等を行うこととする。

3. 応募要件

(1) 参加意思確認書の提出者に対する要件は、以下の通りとする。

1) 基本的要件

- ① 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- ② 設備毎に必要な要件及び以下の競争参加資格を有すること（詳細は別紙「説明書」参照）。

関東地方整備局（港湾空港関係を除く）における令和3・4年度機械設備工事に係る一般競争（指名競争）参加資格のうち定期受付において令和3年1月15日までに申請を行い受理されている者で、令和3年4月1日に認定されている者であること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、関東地方整備局長（以下「局長」という。）が別に定める手続きに基づく一般競争（指名競争）入札参加資格の再認定を受けていること。）。
- ③ 会社更生法に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（②の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- ④ 関東地方整備局長から指名停止を受けている期間中でないこと。
- ⑤ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- ⑥ 説明書の交付を直接受けた者であること。
- ⑦ 参加意思確認書を提出しようとする者との間に、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

I 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。

(ア) 子会社等（会社法（平成 17 年法律第 86 号）第 2 条第 3 号の 2 に規定する子会社等をいう。（イ）において同じ。）と親会社等（同条第 4 号の 2 に規定する親会社等をいう。（イ）において同じ。）の関係にある場合

(イ) 親会社等を同じくする子会社等同士の関係にある場合

II 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし(ア)については、会社等（会社法施行規則（平成 18 年法務省令第 12 号）第 2 条第 3 項第 2 号に規定する会社等をいう。以下同じ。）の一方が民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）第 2 条第 4 号に規定する再生手続が存続中の会社等又は更生会社（会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）第 2 条第 7 項に規定する更生会社をいう。）である場合を除く。

(ア) 一方の会社等の役員（会社法施行規則第 2 条第 3 項第 3 号に規定する役員のうち、次に掲げる者をいう。以下同じ。）が、他方の会社等の役員を現に兼ねている場合

i 株式会社の取締役。ただし、次に掲げる者を除く。

イ 会社法第 2 条第 11 号の 2 に規定する監査等委員会設置会社における監査等委員である取締役

ロ 会社法第 2 条第 12 号に規定する指名委員会等設置会社における取締役

ハ 会社法第 2 条第 15 号に規定する社外取締役

ニ 会社法第 348 条第 1 項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている取締役

ii 会社法第 402 条に規定する指名委員会等設置会社の執行役

iii 会社法第 575 条第 1 項に規定する持分会社（合名会社、合資会社又は合同会社をいう。）の社員（同法第 590 条第 1 項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている社員を除く。）

iv 組合の理事

v その他業務を執行する者であって i から iv までに掲げる者に準ずる者

(イ) 一方の会社等の役員が、他方の会社等の民事再生法第 64 条第 2 項又は会社更生法第 67 条第 1 項の規定により選任された管財人（以下単に「管財人」という。）を現に兼ねている場合

(ウ) 一方の会社等の管財人が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合

2) 技術力に関する要件

①設備毎に検査・試験に関する自らの体制を証明できること。

②発注者からの修繕に関する問い合わせに対応できる体制が整っていること。

3) 実績に関する要件

設備毎に、過去に元請けとして完成・引渡が完了した同種・同規模の揚排水ポンプ設備又は遠方監視操作制御設備を「自ら製作・据付」した実績を有すること（別紙「応募要件付表」参照）。

なお、「自ら製作・据付」とは、揚排水ポンプ設備については、設備全体のシステム設計を行い、主要機器である主ポンプ設備を現地に据付し、試運転までを実施した場合とし、遠方監視操作制御設備については、設備全体のシステム設計、現地据付、試運転までを実施した場合とする。

4) 工事施工体制について

本手続きにおいては、対象となる修繕工事の内容が事前に確定しているものではないことから、配置予定技術者を応募要件に設定しないが、本手続きによる修繕工事の契約時には揚排水ポンプ設備又は遠方監視操作制御設備に関する知識を有し、新設又は修繕工事に携わった経験を有する監理（主任）技術者を配置するものとする。

4. 手続等

(1) 担当部局

1) 契約関係

〒287-0005 千葉県野田市宮崎 1 3 4

江戸川河川事務所 経理課（利根川上流担当）

電 話 04-7125-7312

F A X 04-7123-1901

電子メール：ktr-tonejo-keirika@gxb.mlit.go.jp

2) 技術関係

〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北二丁目 1 9 - 1

利根川上流河川事務所 施設管理課

電 話 0480-52-3961

F A X 0480-52-9836

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

1) 交付場所及び方法

交付を希望する者には、郵送（着払い・希望者の負担）又は、窓口で紙面での交付を行う。郵送を希望する者は、上記(1)1)に申し出ること。

ただし、電子データでの様式の交付を希望する場合は、予め上記(1)1)に事前連絡を行うこと。

また、電子データでの交付を希望する者には、電子メールにより電子データを交付するので、上記(1)1)に電子メールにて依頼を行うこと。

2) 窓口での交付期間

交付期間は令和3年1月12日から令和3年2月1日までの土曜日、日曜日及び休日等（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日）を除く毎日、8時30分から17時15分まで（最

終日は 16 時まで) とする。また、郵送 (着払い) による交付も行うので、上記(1)1)の問い合わせ先に申し出ること。この場合において、送料は希望者の負担とする。

(3) 参加意思確認書の提出期限並びに提出場所及び方法

提出期限：令和 3 年 2 月 1 日 (月) 16 時 00 分

提出場所：上記(1)2)に同じ。

提出方法：持参又は郵送(書留郵便等の配達記録が残るものに限る。)、若しくは F A X (着信を確認すること) による。

5. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 関連情報を入手するための照会窓口 4. (1)に同じ。

(3) 当該応募者に対して企画競争による企画提案書の提出を要請する際の提出予定期限は次のとおり。

令和 3 年 2 月 2 2 日 (月) 1 7 時 1 5 分

(4) 3. (1) 1)②に掲げる競争参加資格の認定を受けていない場合も 4. (3)により参加意思確認書を提出することができるが、その者が企画提案書の提出者として選定された場合に、企画提案書を提出するためには、企画提案書の提出の時において、当該資格の認定を受けていなければならない。

(5) 本公示に対する応募の単位は、別表「対象設備一覧表」の設備毎とし、一つの参加意思確認書で複数の設備の修繕希望を応募することはできない。

(6) 詳細は説明書による。

別表

対象設備一覧表(排水ポンプ①)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	監視操作盤類	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		機側操作盤類	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		補助継電器盤類	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		系統機器盤類	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		遠隔監視設備	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		計装設備(水位計、センサ類)	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
②	主ポンプ設備	立軸斜流ポンプ	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		主配管	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		吐出弁	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		逆流防止弁	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
③	主原動機	ディーゼル機関	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
④	動力伝達装置	歯車減速機(流体継手付き)	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
⑤	燃料系統機器設備	燃料貯油槽	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		燃料小出槽	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		燃料移送ポンプ	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
⑥	冷却水系統機器設備	冷却装置(管内クーラ)	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		膨張タンク	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		清水ポンプ	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
⑦	始動系統機器設備	空気圧縮機	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		始動空気槽	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
⑨	自家発電設備	発電機盤	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		自家発電機装置	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
⑩	受変電設備	電源引込盤類	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
⑪	直流電源設備	直流電源盤	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	
		蓄電池	休泊川排水機場	(株)荏原製作所	

別表

対象設備一覧表(排水ポンプ②)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	監視操作盤類	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		機側操作盤類	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		系統機器盤類	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		遠隔監視設備	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		計装設備(水位計、センサ類)	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
②	主ポンプ設備	横軸斜流ポンプ	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		主配管	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		吐出弁	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		管理運転弁	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		逆流防止弁	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
③	主原動機	ディーゼル機関	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		排気消音器	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
④	動力伝達装置	歯車減速機	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		遠心クラッチ	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑤	燃料系統機器設備	燃料貯油槽	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		燃料小出槽	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		燃料移送ポンプ	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑥	冷却水系統機器設備	冷却水ポンプ	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		熱交換器	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑦	始動系統機器設備	真空ポンプ	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		空気圧縮機	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		始動空気槽	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑧	清水系統機器設備	給水ポンプ類	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		水槽類	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑨	自家発電設備	発電機盤	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		自家発電装置	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑩	受変電設備	電源引込盤類	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
⑪	直流電源設備	直流電源盤	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	
		蓄電池	新堀川排水機場	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	

別表

対象設備一覧表(排水ポンプ③)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	監視操作盤類	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		機側操作盤類	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		補助継電器盤類	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		系統機器盤類	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		遠隔監視設備	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		計装設備(水位計、センサ類)	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
②	主ポンプ設備	立軸斜流ポンプ	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		主配管	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		吐出弁	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		逆流防止弁	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
③	主原動機	ガスタービン(減速機内蔵)	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
⑤	燃料系統機器設備	燃料貯油槽	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		燃料小出槽	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		燃料移送ポンプ	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
⑨	自家発電設備	発電機盤	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		自家発電機	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
⑩	受変電設備	電源引込盤類	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
⑪	直流電源設備	直流電源盤	谷田川排水機場	㈱西島製作所	
		蓄電池	谷田川排水機場	㈱西島製作所	

対象設備一覧表(排水ポンプ④)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	機側操作盤類	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
②	主ポンプ設備	両吸込横軸渦巻ポンプ	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
		主配管	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
		吐出弁	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
		逆流防止弁	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
③	主原動機	電動機	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
④	動力伝達装置	歯車減速機	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
⑥	冷却水系統機器設備	冷却水ポンプ	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
⑦	始動系統機器設備	真空ポンプ	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
⑩	受変電設備	高圧受電盤	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	
		変圧器盤	谷田川第2排水機場	㈱荏原製作所	

対象設備一覧表(排水ポンプ⑤)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	監視操作盤類	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		機側操作盤類	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		遠隔監視設備	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		計装設備(水位計、センサ類)	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
②	主ポンプ設備	立軸斜流ポンプ	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		主配管	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		吐出弁	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		逆流防止弁	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
③	主原動機	ガスタービン(減速機内蔵)	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
⑤	燃料系統機器設備	燃料貯油槽	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		燃料小出槽	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		燃料移送ポンプ	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
⑨	自家発電設備	発電機盤	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		自家発電装置	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
⑩	受変電設備	電源引込盤類	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
⑪	直流電源設備	直流電源盤	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	
		蓄電池	谷田川第1排水機場	(株)荏原製作所	

対象設備一覧表(排水ポンプ⑥)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	監視操作盤類	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		機側操作盤類	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		補助継電器盤類	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		系統機器盤類	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		遠隔監視設備	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		計装設備(水位計、センサ類)	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
②	主ポンプ設備	立軸斜流ポンプ	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		水中ポンプ	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		主配管	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		吐出弁	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		逆流防止弁	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
③	主原動機	ディーゼル機関	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
④	動力伝達装置	歯車減速機	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
⑤	燃料系統機器設備	燃料貯油槽	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		燃料小出槽	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		燃料移送ポンプ	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
⑥	冷却水系統機器設備	冷却装置(管内クーラ)	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		冷却装置(クーリングタワー)	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		冷却水ポンプ	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
⑦	始動系統機器設備	空気圧縮機	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		始動空気槽	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
⑨	自家発電設備	発電機盤	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		自家発電装置	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
⑩	受変電設備	電源引込盤類	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
⑪	直流電源設備	直流電源盤	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	
		蓄電池	蓮花川排水機場	(株)荏原製作所	

別表

対象設備一覧表(揚水ポンプ①)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	集中操作設備	渡良瀬貯水池機場	クボタ機工(株)	
		監視盤類	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		機側操作盤類	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		補助継電器盤類	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		系統機器盤類	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		計装設備(水位・流量計、センサ類)	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
②	主ポンプ設備	立軸斜流ポンプ	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		主配管	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		吐出弁	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		逆流防止弁	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
③	主原動機	電動機	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		始動器、回転速度制御器	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
		電動機用変圧器	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
④	動力伝達装置	歯車減速機	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	
⑥	冷却水系統機器設備	潤滑水ポンプ	渡良瀬貯水池機場	(株)鶴見製作所	

対象設備一覧表(揚水ポンプ②)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	ポンプ盤類	ヨシ原浄化取水機場	(株)電業社機械製作所	
		計装設備(水位計)	ヨシ原浄化取水機場	(株)電業社機械製作所	
②	主ポンプ設備	コラム型水中軸流ポンプ	ヨシ原浄化取水機場	(株)電業社機械製作所	
		主配管	ヨシ原浄化取水機場	(株)電業社機械製作所	
		逆流防止弁	ヨシ原浄化取水機場	(株)電業社機械製作所	

対象設備一覧表(揚水ポンプ③)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	ポンプ盤類	ヨシ原浄化第2取水機場	(株)電業社機械製作所	
		計装設備(水位計)	ヨシ原浄化第2取水機場	(株)電業社機械製作所	
②	主ポンプ設備	コラム型水中軸流ポンプ	ヨシ原浄化第2取水機場	(株)電業社機械製作所	
		主配管	ヨシ原浄化第2取水機場	(株)電業社機械製作所	
		逆流防止弁	ヨシ原浄化第2取水機場	(株)電業社機械製作所	

対象設備一覧表(揚水ポンプ④)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
①	監視操作制御設備	ポンプ盤類	ヨシ原浄化送水機場	クボタ機工(株)	
		計装設備(水位計)	ヨシ原浄化送水機場	クボタ機工(株)	
②	主ポンプ設備	コラム型水中軸流ポンプ	ヨシ原浄化送水機場	クボタ機工(株)	
		主配管	ヨシ原浄化送水機場	クボタ機工(株)	

別表

対象設備一覧表(遠方監視操作制御設備①)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
⑫	遠方監視操作制御設備	監視操作設備	川俣出張所	㈱荏原製作所	
		運転支援装置	川俣出張所	㈱荏原製作所	
		管理サーバ	川俣出張所	㈱荏原製作所	
			休泊川排水機場	㈱荏原製作所	
		光伝送装置盤	川俣出張所	㈱荏原製作所	
			休泊川排水機場	㈱荏原製作所	
			休泊川排水機場吐出樋管	㈱荏原製作所	
			休泊川排水樋門	㈱荏原製作所	
			福川水門	㈱荏原製作所	
		付属設備	川俣出張所	㈱荏原製作所	
			休泊川排水機場	㈱荏原製作所	
			休泊川排水機場吐出樋管	㈱荏原製作所	
			休泊川排水樋門	㈱荏原製作所	
			福川水門	㈱荏原製作所	

対象設備一覧表(遠方監視操作制御設備②)

No.	設備名称	規格等	設置場所	設備施工者	備考
⑫	遠方監視操作制御設備	監視操作設備	守谷出張所	㈱IHIインフラ建設	
		運転支援装置	守谷出張所	㈱IHIインフラ建設	
		管理サーバ	守谷出張所	㈱IHIインフラ建設	
		光伝送装置盤	守谷出張所	㈱IHIインフラ建設	
			稲戸井排水門	㈱IHIインフラ建設	
			稲戸井下流排水樋門	㈱IHIインフラ建設	
			青山水門	㈱IHIインフラ建設	
		付属設備	守谷出張所	㈱IHIインフラ建設	
			稲戸井排水門	㈱IHIインフラ建設	
			稲戸井下流排水樋門	㈱IHIインフラ建設	
			青山水門	㈱IHIインフラ建設	

応募要件付表

No	設備名称	応募要件		備考
		1) 基本的要件	3) 実績に関する要件	
		競争参加資格(※1)	施工実績(企業)	
		機械設備工事	同種・同規模の施工実績(経 験)(※2)	
①	監視操作制御設備	○	○	
②	主ポンプ設備	○	○	
③	主原動機	○	○	
④	動力伝達装置	○	○	
⑤	燃料系統機器設備	○	○	
⑥	冷却水系統機器設備	○	○	
⑦	始動系統機器設備	○	○	
⑧	清水系統機器設備	○	○	
⑨	自家発電設備	○	○	
⑩	受変電設備	○	○	
⑪	直流電源設備	○	○	
⑫	遠方監視操作制御設備	○	○	

※1: 関東地方整備局(港湾空港関係を除く)一般競争(指名競争)入札参加資格

※2: 下記に参加を希望する設備の施設毎の「同種・同規模」は下表のとおり。

同種・同規模の定義

No	施設名称	同種	同規模	備考
排①	休泊川排水機場	河川における内水排除を目的とした排水機場で、主ポンプ形式が立軸斜流式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒10m ³ 以上であること。	
排②	新堀川排水機場	河川における内水排除を目的とした排水機場で、主ポンプ形式が横軸斜流式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒2.5m ³ 以上であること。	
排③	谷田川排水機場	河川における内水排除を目的とした排水機場で、主ポンプ形式が立軸斜流式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒10m ³ 以上であること。	
排④	谷田川第二排水機場	河川における内水排除を目的とした排水機場で、主ポンプ形式が横軸渦巻式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒3.3m ³ 以上であること。	
排⑤	谷田川第一排水機場	河川における内水排除を目的とした排水機場で、主ポンプ形式が立軸斜流式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒4.95m ³ 以上であること。	
排⑥	蓮花川排水機場	河川における内水排除を目的とした排水機場で、主ポンプ形式が立軸斜流式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒5m ³ 以上であること。	
揚①	渡良瀬貯水池機場	河川における利水を目的とした揚水機場で、主ポンプ形式が立軸斜流式であること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒10m ³ 以上であること。	
揚②	ヨシ原浄化取水機場	河川における水中ポンプであること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒1.25m ³ 以上であること。	
揚③	ヨシ原浄化第2取水機場	河川における水中ポンプであること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒1.25m ³ 以上であること。	
揚④	ヨシ原浄化送水機場	河川における水中ポンプであること。	主ポンプ1台当たりの吐出量が毎秒2.5m ³ 以上であること。	
遠①	川俣出張所	治水及び利水を目的としたポンプ設備及びゲート設備における遠方監視操作制御設備であること。	排水機場1箇所以上及び水門3箇所以上であること。	
遠②	守谷出張所	治水及び利水を目的としたゲート設備における遠方監視操作制御設備であること。	水門3箇所以上であること。	